

令和4年3月22日

所 属 社会教育課

所属長 松田 陽子

電 話 06 - 4950 - 0405

ウクライナに早く平和が訪れるよう祈りを込めて平和の鐘を鳴らします

尼崎ユネスコ協会では、この度のロシア軍のウクライナ侵攻により、多く人々の尊い命が奪われ、負傷されているウクライナの悲惨な状況を憂い、一日も早く平和が訪れるように祈りを込めて、「平和の鐘」を鳴らします。

1 日 時

令和4年3月23日（水） 正午

2 場 所

元浜緑地公園 芝生広場

3 参加者

尼崎ユネスコ協会 理事 約10名



平成30年度「平和の鐘をならそう」の様子

4 参 考

尼崎ユネスコ協会は、尼崎市に社会教育団体として登録されているグループで、ユネスコ憲章の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という精神のもと、教育・科学及び文化を通じて、恒久的な世界平和の確立と人類の福祉向上に貢献することを目的とし、活動しています。

平和の鐘は、1954年に中川千代治(なかがわ ちよじ)氏が戦争の悲惨さ、平和の尊さを訴えるために、当時の国連加盟国65カ国のコインと銅を合金して「世界平和の鐘」を铸造し、平和のシンボルとしてニューヨーク国連本部に寄贈しました。

その後、この趣旨に賛同し、継承する運動が起こり、2005年7月に平和運動団体であるワールドピースベルアソシエーションにより、日本では4番目として元浜緑地に「平和の鐘」が設置されました。尼崎ユネスコ協会は、7月19日が「民間ユネスコ運動の日」であることから、毎年7月の第3土曜日にこの平和の鐘を鳴らし、恒久的な世界平和への祈りを捧げ続けています。

以 上